

2021-2022 年度  
東日本区年次報告書



ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

2021-2022年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年となりました。また、本年度は、一般社団法人として初年度の年でもありました。将来のための組織づくりの一年としたいと考え進めてまいりましたが、端緒に付いた状態で年度末を迎える形となりました。次年度以降に持続可能な組織づくりを続けていただきたいと思います。

- 【理事主題】 私たちは次の世代のために何ができるか？  
“Think for the next generation.”
- 【スローガン】 絆を深める時  
“We are stronger together than we are alone.”
- 【重点課題】 東日本区が法人化したメリットを最大限に活かす。  
新しい生活様式に沿ったクラブ運営を行う。  
新しい組織を検討する。

**【重点課題達成状況】**

**東日本区が法人化したメリットを最大限に活かす。**

一般社団法人として信用度を高め、会員増強において Change!2022 の目標を達成する。

会員増強推移

2021. 7. 1 現在		2022. 1. 1 現在		2022. 5. 31 現在	
会員数		会員数	増減	会員数	増減
800		794	-6	804	+10

法人推進委員会を設置し、一般社団法人として基盤構築に取り組む。

法人推進委員会では、法人としての東日本区を活用するための施策を策定中。

一般社団法人として、対外的な情報発信力を高める。

7月1日リリースを目指して東日本区ウェブサイトの再構築を開始。

**新しい生活様式に沿ったクラブ運営を行う。**

対面にこだわらず、会員の健康を最優先とした運営を行う。

東日本区主催の会議、研修はすべて Zoom 開催とした。

東日本区の Zoom アカウントの7月以降の使用回数：238回

新たな環境に対応できるようトレーニングを行う。

体系的なトレーニングは行わなかったが、個別に対応を行った。

個々のネット環境の構築については LT 委員会で検討した。

**新しい組織を検討する。**

組織力の低下を補う新組織を構築する。

法人推進委員会、文献・組織検討委員会で審議を継続している。

グローバルクラブを設立する。

とちぎ YMCA リーダーOB、沖縄那覇クラブ復活で検討したもの、グローバルメンバーのミッションの策定で難航している。

現役リーダーのユースクラブを設立する。

とちぎ YMCA、盛岡 YMCA、北海道 YMCA で検討したものの、現在の組織との差別化が難しいことから断念した。

## 【達成目標・実績】

担当	事業	達成目標	達成実績	達成率	達成クラブ数
キャビネット	PWALP	606,400	314,600	51.9%	24
地域奉仕・YMCA サービス	CS	947,500	806,305	85.1%	39
	ASF	379,000	265,400	70.0%	33
	FF	379,000	262,250	69.2%	31
国際・交流	BF	1,516,000	961,346	63.4%	29
	TOF	985,400	772,200	78.4%	36
	RBM	606,400	468,600	77.3%	32
	YES	379,000	247,500	65.3%	30
	IBC	7クラブ	0クラブ	0.0%	
	DBC	2クラブ	1クラブ	50.0%	
会員増強	新クラブ	3クラブ	1クラブ	33.3%	
	会員増加数	150	10	6.7%	
ユース	ユース活動支援	379,000	363,750	96.0%	32
	ユースクラブ設立	3クラブ	0クラブ	0.0%	
東日本区ワイズ基金		500,000	300,000	60.0%	
金額合計		6,677,700	4,761,951	71.3%	

## 【活動状況】

### 1. 緊急支援募金活動

インドコロナ緊急支援（ヒールザワールド）

募集期間：2021年3月～6月（前年度）

献金総額：626,350円（5000CHF、樫村メモリアルからの342,350円を含む）

献金先：ワイズメンズクラブ国際協会

熱海伊豆山土石流災害募金

募集期間：2021年9月～12月

献金総額：765,088円 全体として3,317,000円（台北アルファクラブなどを含む）

献金先：静岡YMCA・熱海市

ミャンマーYMCA 支援募金

募集期間：2021年7月～2022年2月

献金総額：263,658円

献金先：アジア太平洋地域事務所

ウクライナ難民支援募金（国際協会）

募集期間：2022年3月～4月

献金総額：848,000円（JEFからの資金を加えて100万円）

献金先：ワイズメンズクラブ国際協会

ウクライナ日本国内難民支援募金（日本YMCA同盟）

募集期間：2022年5月～6月（継続中）

献金目標：100万円

献金先：日本YMCA同盟

## 2. 会議体

常任役員会 12 回開催 オブザーバとして、4 事業主任の常時参加を求めた。

東日本区役員会 3 回開催 Zoom 開催

### 第 1 回の主な議案と報告事項

議案 沖縄那覇クラブ解散  
議案 経理規程制定  
議案 ユース事業主任変更  
報告 JEF 専用銀行口座開設  
報告 ミャンマーへの募金の件  
報告 熱海伊豆山地区土砂災害緊急募金の件

### 第 2 回の主な議案と報告事項

議案 2022-2023 年度 東日本区役員指名  
議案 Y's×SDGs Youth Action 2022 事業承認・事業資金拠出の件  
報告 ウェブサイト更新作業発注の件  
報告 2022-2023 年度 東日本区理事方針  
報告 ユース事業 AYC、YVLF

### 第 3 回の主な議案と報告事項

議案 ウクライナ募金の東日本区ワイズ基金からの支出の件  
議案 2022-2023 年度東日本区理事方針の件  
議案 2022-2023 年度会計予算承認の件  
議案 会津クラブ解散承認の件  
報告 「Y's×SDGs Youth Action2022」東日本区からの助成金について  
報告 甲府やまなみクラブ（仮称）設立について>2021/6/11 設立総会

代議員会 1 回開催 一般社団法人会員総会を兼ねる。(2021/8/28)

議案 「2020-21 年度東日本区会計決算報告及び Change! 2022 決算報告承認の件」  
議案 「2020-21 年度東日本区年次報告承認の件」  
議案 「ユース事業主任変更の件」

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区会員総会

議案 「理事及び監事選任の件」

## 3. 事業委員会（詳細は各事業主任の年次報告を参照）

地域奉仕・YMCA サービス（深尾委員長 委員 11 名）

「日本 YMCA 災害時エリアセーフティガイドライン」説明会（2022/4/1）

「Week4Waste 世界統一活動日（2022/4/2）」アピール 11 クラブ 121 名参加

会員増強（大川委員長 委員 8 名）

クラブ活動報告書の提出を求める。

拡大 EMC 事業委員会 9 回開催

国際・交流（山田委員長 委員 7 名）

TOF 支援の詳細情報の提供

ミャンマー、ウクライナ情報の発信

ユース（相磯委員長 委員 8 名）

ユースボランティア・リーダーズフォーラムを Zoom 開催（2021/9/11・12）

リーダー：28 名参加 カウンセラー：6 名参加

アジア太平洋地域ユース・コンボケーションへのユース 7 名参加（2021/8/7・8）

新事業 iGo の検討の中で国内版（iDo）を検討したが、未実施

#### 4. 常置委員会（詳細は委員長の年次報告を参照）

文献・組織検討委員会（駒田委員長 委員 9名）

7 答申を受領（2022/3/22）

LT 委員会（山下委員長 委員 8名）

カフェドフレッシュワイズ（2021/8/28）

部長パワーアップワークショップ（次期部長研修会）（2021/10/30）

事業主任バトンタッチミーティング（2022/2/3）

次期クラブ会長・部役員研修会（2022/3/6）

東日本区ワイズ基金委員会（原委員長 委員 4名）

ウクライナ難民支援のための基金からの支出を決議（2022/4/14）

東日本区奈良傳賞選考委員会（委員長大久保 委員 3名）

浅見委員の逝去に伴い、渡辺委員を役員会で選任

選考会議を開催（2022/5/9）

#### 5. ワイズメネット委員会（澁谷委員長 委員 9名）

絵本贈呈を実施（6月発送）

ワイズメネット献金の実施（11月～2月上旬）

国際プロジェクト献金

国際ワイズメネット会費の送金

#### 6. 特別委員会

Change!2022 推進委員会（栗本委員長 委員 18名）

毎月開催・Change!2022 ニュース発行

スマホ専用サイト運用開始

告知用 QR コード付きカード配布

ワイズ・ナイトフォーラム（5回開催、6月に第6回を開催予定）

法人推進委員会（板村委員長 委員 14名）

7回開催 以下をタスクチームで実施

教宣動画の作成

一般社団法人としての概要書（法人案内）の作成

サポート体制の構築

#### 7. 東西合同委員会

東西日本区合同翻訳・通訳グループ（田尻委員長 委員 13名）

国際協会発行の文書の日本語翻訳、国際会議等での通訳業務を担当

国際会長ニュース 11回

YMI ワールド3回

YMI 2020-21 年度事業報告書

東西交流実行委員会（古田委員長＜西日本区＞ 委員 19名）

東西日本区設立 25 年周年事業として東西日本区交流会の実施を決定

スローガン：語ろうワイズの未来！ 共に手を取り次の 100 年へ

ワイズメンズクラブ国際協会は 2022 年に創立 100 周年！

東西日本区は 25 周年！！

日時：2023 年 2 月 4 日（土）午後～5 日（日）午前

場所：ANA クラウンプラザホテル神戸

ワイズ・YMCA パートナースHIP検討委員会（山田リエゾン 委員 11 名）

新事業 Y's×SDGs Youth Action2022 実施

2022/3/6 審査会で下記事業を支援事業として採用した。

No.	選考チーム名称 及び 企画名	支援金	備考（推薦団体等）
2	とちぎ YMCA 高校生ボランティアグループ「つぼみ」 みんなの居場所作りを目指して「つぼみ食堂」を展開したい	100, 000 円	宇都宮クラブ
5	富士宮高校会議所 SDGs 実践「マスマス元肥（げんぴ）を使って富士宮をマスマス元気に！！」	200, 000 円	富士宮クラブ
6	盛岡 YMCA 子どもの人権チーム 子どもの人権プロジェクト	200, 000 円	盛岡 YMCA もりおかクラブ
7	オール熊本 YMC リーダー会 ぶらっとほーむ 〜いつまでも私たちの居場所に〜	200, 000 円	
9	NPOSalamatA&Philippines Sky Light Project (PSP) ともに希望の絵本・ともに奏でる教科書・海を越えて届ける！	200, 000 円	埼玉 YMCA 所沢センター 所沢クラブ
10	日星高等学校 看護科20 期生 西舞鶴商店街活性化プロジェクト	175, 000 円	
11	「まちごとキッズスペース」プロジェクトチーム 放課後学舎「まちごとキッズスペース」プロジェクト	200, 000 円	滋賀 YMCA
13	中央大学 国際ボランティアサークル「ひつじくも」 クリーンな街づくり計画	60, 000 円	日本 YMCA 同盟 学生 YMCA 事務局
15	滋賀 YMCA アウトドアクラブ・リーダー会 「風の谷キャンプ場 ハニーワールド・プロジェクト」	200, 000 円	滋賀 YMCA
16	山梨 YMCA ユースリーダー会 やまなしアクション！2022	200, 000 円	山梨 YMCA 甲府 21 クラブ

#### 8. 国際協会設立 100 周年記念アジア太平洋地域事業

SongFest、Food, Culture and Heritage

#### 9. 国際投票

2022 年 1 月国際投票が行われ、2 月 2 日に選挙結果が公表された。

東日本区関東東部川越クラブの利根川恵子さんが 2022-2024 年度の国際議員、2023-2024 年度のアジア太平洋地域会長に選出された。

なお、東日本区の投票率は 69.8%に留まり、対策が必要

#### 10. その他

アジア太平洋地域憲法改正議案についてのクラブ会長説明会開催（2021/7/17）

東日本区の投票率は 45%に留まり、対策が必要

ハンドブック&メンバーシップ ロースターデジタル発行（2021/9/26）

「祈りの輪」の日プログラム実施（2021/12/8）

Be Healthy Program の開催（2022/5/10～2022/5/31）

広報不足により参加者は 10 名に留まった。

一年間の皆さまの東日本区へのご協力に対して深く感謝いたします。

以 上

	項目	内容	実施回数
1	次期理事キャビネットミーティング	「東日本区理事キャビネット活動の手順」を基にキャビネットの任務とスケジュールを確認・手配・実施	延べ 15 回
2	東日本区常任役員会	東日本区 2021-2022 年度次期理事として出席し議案提出・諸問題について審議する	延べ 13 回
3	東日本区役員会	東日本区 2021-2022 年度次期理事として出席し議案提出・諸問題について審議する	延べ 4 回
4	東日本区次期役員懇談会	東日本区 2022-2023 年度理事として初回ミーティング・自己紹介と基本方針ミーティングする	1 回
5	代議員会	東日本区 2021-2022 年度次期理事として出席し議案提出・諸問題について審議する	延べ 2 回
6	RDE トレーニング	次期理事として AP の主催するミーティングに出席 次期理事として IHQ の主催する RDE 研修会に出席 次期理事として AP の主催する RDE 研修会に出席	1 回 延べ 2 日 延べ 2 日
7	ASP エリア議会等	アジア太平洋地域議会等に参加し状況把握する	延べ 5 回
8	東日本区事務所人事委員会	東日本区事務所長の継続について審議	1 回
9	文献・組織検討委員会	委員会に出席し状況把握する	延べ 10 回
10	LT 委員会	LT 委員会に出席し状況把握する ・研修会開催の資料作成・配布・基本方針の説明 ・部長パワーアップ・ミーティングの参加 ・事業主任バトンタッチミーティングの参加・実施 ・委員会と連携して次期クラブ会長・部役員研修会実施	延べ 8 回
11	拡大 EMC 委員会	委員会に出席し状況把握する	延べ 7 回
12	Change ! 2022委員会 ・同ワイズ・ナイトフォーラム	委員会に出席・参加し状況把握する ワイズ・ナイトフォーラムに出席し活動状況把握	延べ 12 回 延べ 5 回
13	法人推進委員会	法人推進委員会に出席し 諸問題の意見交換・推進	延べ 9 回
14	東西交流委員会 ・東西理事連絡会 ・東西交流委員会 ・東西交流プログラム委員会	委員会に参加し諸問題の意見交換 ・区大会の日程調整・ハンドブックの発行について ・ワイズメンズクラブ設立 100 周年行事について ・100 周年大会のプログラムについて	延べ 10 回
15	ワイズ・YMCA パートナシップ検討委員会	ワイズ・YMCA と諸問題について意見交換・実施 ・ユースアクションについての計画・選考・実施	延べ 6 回
16	表彰委員会	22021-2022 年度の表彰の現状を把握する	1 回
17	区内の部・クラブの例会訪問・卓話の実施	各部・クラブ・各種フォーラムの参加と現状把握 ・北海道部研修会・基本方針の説明会 Zoom 会議卓話 ・東京武蔵野多摩クラブ研修会等 Zoom 会議実施 ・ミャンマー祈りの会 Zoom 会議参加 ・東京サンライズクラブ・厚木クラブ・川越クラブ例会リアル訪問 ・所沢クラブ例会リアル参加・東新部 EMC Zoom 会議参加 ・あずさ部評議会 Zoom 会議他多数参加し現状把握する	延べ 20 回

大久保知宏理事の下、直前理事として奉仕させて頂きました(常任役員4年目)。長引くコロナ禍の中、引き続き行動制限がありました。Zoomを駆使して区の運営が行われ、多くの新たな事業が理事の主導の下で具体化し、それらの推進を支援させて頂きました。また、アジア太平洋地域ASF事業主任を務めさせて頂きました。

- ・今年度の直前理事の活動状況・・・下表の通り。
- ・2021年7月1日に一般社団法人ワイズメンズクラブ東日本区が設立登記され、法人としての歩みを開始(別記参照)。
- ・次期の財政監事候補者決定、次期の次々期理事候補者は本日現在未定。
- ・東西日本区25周年記念行事(第3回東西交流会)の準備を推進中(昨年度より継続中)。
- ・ワイズメンズクラブ国際協会創立100周年記念行事の準備を推進中(昨年度より継続中)。

2021-2022年度活動状況			
			(期間：2021年6月28日～2022年5月20日)
会議・行事 (全てZoomにて開催)	資格	出席回数/ 開催回数	出席月日
常任役員会(含電磁開催)	常任役員	13/13	6/28, 7/9, 8/2, 9/6, 10/8, 12/10, 1/14, 2/4, 2/11, 3/11, 4/1, 5/6, 5/20
役員会	常任役員	3/3	7/10, 11/6, 4/9
代議員会(臨時)	常任役員	1/1	8/28
会員増強事業委員会(拡大EMC)	オブザーバー	7/7	7/29, 8/30, 9/29, 10/28, 1/27, 2/24, 4/27
Change! 2022推進委員会/ Y's ナイトフォーラム(斜字)	委員	16/16	7/7, 8/4, 9/1, 9/19, 10/6, 10/24, 11/3, 11/21, 12/1, 1/7, 2/2, 2/26, 3/2, 4/6, 4/16, 5/13
文献・組織検討委員会	オブザーバー	8/9	7/27, 8/27, 9/24, 11/19, 12/17(欠), 1/21, 2/18, 3/17, 4/22
LT委員会および研修会(斜字)	オブザーバー	8/9	7/16, 8/20, 10/15, 10/30, 1/20, 2/3, 2/25, 3/5, 5/20(欠)
法人推進委員会	職責委員長	8/8	10/31, 11/25, 12/6, 1/18, 2/21, 3/28, 4/26, 5/16
区事務所人事委員会	職責委員	1/1	2/4
指名委員会	職責委員長	1/1	3/6
表彰会議		1/1	5/9
部大会およびその他(斜字)		6	9/11, 10/2, 10/16, 1/8, 3/13, 4/2
区ウェブサイト更新	チーム	2/2	12/17, 3/21
2020-2021年度区報第2号発行	直前理事	1	10/1
ワイズ・YMCAハートシップ委員会 (含Youth Action 選考委員会)	職責委員	6/6	7/1, 8/31, 11/15, 1/25, 3/6, 3/30
東西理事連絡会議	直前理事	1/1	5/18
東西交流会実行委員会	職責委員	3/3	10/1, 2/14, 4/25
東西交流プログラム委員会	委員長	8/8	7/30, 8/24, 12/3, 1/24, 3/4, 3/25, 4/19, 5/12

注：CS・Yサ事業委員会、国際・交流事業委員会、ユース事業委員会よりは委員会につき特に連絡なし。

以上



2021-2022年度の東日本区書記活動は前期の2021年1月から実質開始された。2021年6月迄は「次期キャビネット打合せ」を次期常任役員に加え次期4事業主任に参加いただき実施した。2021年7月からは「常任役員会」として次期キャビネット打合せメンバーに加え、行政・財政両監事はじめ常任役員会出席メンバーにも参加いただき実施した。役員会、代議員会の議案は全て常任役員会で審議し承認を得て作成された。この常任役員会では議案の審議・承認のみならず、定款、規定・規則、理事キャビネット活動手順、東日本区大会手引き等を参照・共有し、過去の実績に捕らわれすぎないように区の運営を行った。その過程で議論された区運営の考え方、プロセス、欠けていた知見、知りえた知見を可能な限り、常任役員会議事録に盛り込み記録とした。

#### 1. 常任役員会案内・アジェンダおよび議事録作成

- |      |             |                 |
|------|-------------|-----------------|
| (1)  | 2021年1月29日  | 第1回次期キャビネット打合せ  |
| (2)  | 2021年2月20日  | 第2回次期キャビネット打合せ  |
| (3)  | 2021年3月20日  | 第3回次期キャビネット打合せ  |
| (4)  | 2021年4月17日  | 第4回次期キャビネット打合せ  |
| (5)  | 2021年5月22日  | 第5回次期キャビネット打合せ  |
| (6)  | 2021年6月28日  | 第1回常任役員会        |
| (7)  | 2021年7月9日   | 第2回常任役員会        |
| (8)  | 2021年8月2日   | 第3回常任役員会        |
| (9)  | 2021年9月6日   | 第4回常任役員会        |
| (10) | 2021年10月8日  | 第5回常任役員会        |
| (11) | 2021年12月10日 | 第6回常任役員会        |
| (12) | 2022年1月14日  | 第7回常任役員会        |
| (13) | 2022年2月4日   | 第8回常任役員会        |
| (14) | 2022年3月11日  | 第9回常任役員会        |
| (15) | 2022年4月1日   | 第10回常任役員会       |
| (16) | 2022年5月6日   | 第11回常任役員会       |
| (17) | 2022年5月20日  | 臨時常任役員会（議事録作成中） |

#### 2. 役員会案内(依頼事項含)・ワークブック作成および議事録作成

- |     |            |            |
|-----|------------|------------|
| (1) | 2021年7月10日 | 第1回役員会     |
| (2) | 2021年11月6日 | 第2回役員会     |
| (3) | 2022年1月16日 | 臨時役員会      |
| (4) | 2022年4月9日  | 第3回役員会     |
| (5) | 2022年6月3日  | 第4回役員会(予定) |

#### 3. 代議員会案内(依頼事項含)・ワークブック作成および議事録作成

- |     |            |               |
|-----|------------|---------------|
| (1) | 2021年8月28日 | 臨時代議員会(一社総会含) |
| (2) | 2022年6月4日  | 年次代議員会        |

#### 4. その他

- (1) ハンドブック&ロースターデジタル版作成作業
- (2) 2022年5月18日 東西理事連絡会議案内・アジェンダ作成
- (3) 東日本区大会メモリアルアワー物故者情報収集・まとめ
- (4) 東日本区大会東日本区アワー:ゴールデンメンバー情報収集・まとめ

以上

2021年7月1日より、「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」は法人化し、「一般社団法人 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」となりました。今年度は任意団体から一般社団法人(非営利型)への移行の初年度にあたり、東日本区会計として会計面で、小林事務所長と協議しながら法人としての会計の移行を進めてまいりました。

今年度からの会計処理につきましては、法人(一般社団法人)の会計制度に移行しております。

また今期中は為替相場において円安が進み、国際会費の日本円での金額の上昇と、国際献金等もドル建てに換算すると為替の影響で、実質的に目減りしております。

### (1)法人化後の会計処理について

会計処理方法については、法人化前と大きく変更していません。

以前より任意団体として法人とみなした経理処理を行っており、法人に必須とされている複式簿記による経理処理を行っているため、法人化で大きな変更は行っていません。

会計報告も、従来通りの収支報告書、貸借対照表、財産目録の形式で作成致します。

また法人設立にあたり、任意団体であった2020-2021期の財産を全額継承しております。

### (2)法人化後の銀行口座

法人化により法人格を取得しました。法人格があるので、各種契約は一般社団法人で行うことになります。

銀行口座も法人名で開設出来るので、銀行口座も法人名義に変更をしています。

今までは法人格がなかったため、同一金融機関1口座のみでしたが、今後は複数口座を開設可能になったのでJEFなどの特別会計ごとの口座に移行します。

### (3)税務官署に対する申告について

法人化後に、四谷税務署、東京都税務所に開業届を提出したため、申告義務が生じますが、一般社団法人(非営利型)なので、収益事業から発生したもののみが法人税等の課税対象になります。

収益事業は物品販売業や不動産貸付業などの34事業が指定されております。

参考資料:国税庁 一般社団法人・一般財団法人と法人税

<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/hojin/koekihojin/pdf/01.pdf>

2021-2022会計年度の活動状況及び経理内容を見まして、当該年度は収益事業34事業に該当する収入はありませんので法人税の申告の予定はありません。

法人住民税・事業税も収益事業を行わない限り原則として課税されません。ただし、東京都は条例により収益事業を行っていない一般社団法人も法人住民税の均等割年70,000円は課税されますので、4月に新宿都税務所に申告納税を行いました。(東京都は収益事業を行わない一般社団法人の申告は決算期にかかわらず4月に統一されています)

### (4)各クラブからの区費、献金について

各クラブのから納入される区費、また捧げられます各種献金につきましては、東日本区や国際などで、公益を目的とする事業に供することが確実なものとしているため、東日本区は法人税等の課税の対象にされません。

事業主題:「振り返り、自信をみつけ、踏み出そう」

副 題:「100年後の誇りに向けて」

### 各地におけるCS・Yサ活動

第1回、第2回事業委員会にて、昨年度の経験を基に、a.オンライン b.オンラインとリアル併用の併用 c.感染対策を徹底した上でのリアル実施等、多数の報告有り。一方で、未だ中止中の事業有り。今後、世情の変化に伴う主催者の更なる工夫に期待する。

### 一般社会に向けたPR, 広報

上記の結果は、順次東日本区公式ウェブサイトへの掲載を準備中。

### プロボノリスト

第3回事業委員会にて、学びと協議を実施し、a.卓話者リスト、b.ブリテン執筆やクラブを越えた協力依頼(仮称:ボランティアリスト) c. YMCAプログラムへの協力、d. クラブの弱点を検証～新入会員獲得へのヒント e.クラブ・部・区役員候補等、望まれる活用例が挙げられた。今後、ワイズ全体に理解促進と意識の定着を行いつつ、旧ロースターの職業欄に代わるものとして完成を目指す。

### 災害発生時の活動について

7月熱海市伊豆山土石流災害、10月千葉県北西部地震、3月福島県沖地震等、東日本大震災以来の災害に見舞われた今年度は、活動支援及び支援金の考え方を確認(7月役員会他)。光永担当主事による「日本 YMCA 災害時エリアセーフティガイドライン」の説明会を実施(2022/04/01)。YMCAを通じた被災地支援と、被災当事者として必要な知識を学び、ワイズのネットワークを有効利用した実践力を養う必要性を確認。区はYMCAと協働して、クラブ・部主催の説明会、学習会の実施を支援することが出来る。

### YMCA・ユース・ワイズの連携

ワイズ・YMCA パートナシップ検討委員会主導による Y's×SDGs Youth Action2022 の立ち上げによって、エントリーチームと地縁が有りそうなクラブとのマッチングが行われた。尚、今事業は3者から4者連携(\*)へと活動の拡大を図り、一般応募も可能としたため各地で新たな出会いが出来ている。各チームの活動は既にスタートしており(4月～)、今後ワイズの伴走が期待される。\*YMCAのユースリーダーに止まらず、一般ユースを含む。

### 「CS・Yサ・ASF資金運用規定」の見直し

コロナ禍において、従来の規定(ロースターP101)に不都合が見つかったため、第5条(申請)へ変更届、取下届の追加と提出期限の設定。第8条(報告)へ提出期限の設定(例:2021-22年度では役員会から遡って20日前)。年度を跨がって申請される場合の対応について、区役員会への改正案を検討中(2022/5現在)。

### 表彰

区大会にて発表。

### その他

W4W事業への協力クラブが増加傾向。担当主事会(6月)の協働主宰について引継資料作成中。

以上

【活動報告】

年月日	内容
2021.07.07(水)	第1回 Change! 2022 推進委員会出席 (Zoom によるテレビ会議)
07.10(土)	第1回東日本区役員会 出席 (Zoom によるテレビ会議) 区/部活動計画・委員会/専任委員等活動計画・議案審議/協議
07.12(月)	伊東クラブ初例会 出席 (ダンコーエンボウル)
07.20(火)	御殿場/三島/沼津クラブ 3クラブ合同初例会&入会式 出席 (YMCA 東山荘)
07.26(月)	熱海クラブ初例会&入会式 出席 (KKRホテル熱海)
07.28(水)	熱海グローリークラブ初例会&入会式 出席 (KKRホテル熱海)
07.29(木)	第1回拡大 EMC 事業委員会 (Zoom によるテレビ会議) 参加者 29 名 自己紹介、事業方針の発表、動画で分かるワイズメンズクラブの説明
08.04(水)	第2回 Change! 2022 推進委員会出席 (Zoom によるテレビ会議)
08.30(月)	第2回拡大 EMC 事業委員会 (Zoom によるテレビ会議) 参加者 30 名 活動報告書の件、ナイトフォーラムの件
09.01(水)	第3回 Change! 2022 推進委員会出席 (Zoom によるテレビ会議)
09.29(水)	第3回拡大 EMC 事業委員会 (Zoom によるテレビ会議) 参加者 20 名 活動報告書の件、各部エクステンションの進捗状況の発表
10.06(水)	第4回 Change! 2022 推進委員会出席
10.28(木)	第4回拡大 EMC 事業委員会 (Zoom によるテレビ会議) 参加者 20 名
11.03(水)	第5回 Change! 2022 推進委員会出席 (Zoom によるテレビ会議)
12.01(水)	第6回 Change! 2022 推進委員会出席 (Zoom によるテレビ会議)
2022.01.07(金)	第7回 Change! 2022 推進委員会出席 (Zoom によるテレビ会議)
01.10(月)	伊東クラブ新年例会 出席 (暖香園ボウル)
01.14(金)	常任役員会出席 (Zoom によるテレビ会議)
01.15(土)	富士山部評議会 出席 (静岡 YMCA)
01.27(木)	第5回拡大 EMC 事業委員会 (Zoom によるテレビ会議) 参加者 23 名 活動報告書の件、ナイトフォーラムの件
02.02(金)	第8回 Change! 2022 推進委員会出席 (Zoom によるテレビ会議)
02.03(土)	事業主任バトンタッチミーティング (Zoom によるテレビ会議)
02.24(木)	第6回拡大 EMC 事業委員会 (Zoom によるテレビ会議) 参加者 21 名 活動報告書の件、各部エクステンションの進捗状況の発表
03.02(水)	第9回 Change! 2022 推進委員会出席
04.28(木)	第回拡大 EMC 事業委員会 (Zoom によるテレビ会議) 参加者 18 名

【会員異動状況】2022/03/26 現在

部	2020 1/1	2020 7/1	2021 1/1	2021 7/1	2022 1/1	2022 3/26	入 会	退 会	内 転 入	再 入 会	直近 増減
北海道部	45	46	46	45	46	46	0	0			0
北東部	139	132	136	135	133	133	0	0			0
関東東部	134	132	137	132	130	133	4	1			3
東新部	91	88	89	84	81	82	1	0			1
あずさ部	180	166	171	171	171	172	1	0			1
湘南・沖縄部	106	101	97	82	83	84	1	0			1
富士山部	180	165	162	151	151	149	0	1			-1
東日本区合計	875	830	838	800	794	799	7	2			5

コロナまん延防止重点措置などが発令された 2021-22 年度は、各クラブの例会の在り方、部活動(評議会や部大会)の持ち方も Zoom 開催、活動中止、クラブによる差が広がっていると感じた 1 年でした。IBC や DBC に関しても、すでに多くのクラブで締結はされていても、その活動実態は停滞しているという現実があります。

一方で、ミャンマーでの政治危機が勃発(2021 年 2 月)、ウクライナへのロシア侵攻が 2022 年 4 月に始まり、その後両国での難民、国内難民が出て、人道的支援が強く求められている状況がコロナ蔓延と同時に YMCA やワイズにとって何かできないかと国際問題への新たな取り組み方が問われている 1 年でした。

### 主な活動報告

-ミャンマーの政治的危機で混迷している市民への人道支援活動を、YMCA を中心に行うために募金を呼び掛けてきました。結果は、2022 年 3 月末時点で東日本区事務所に集められた額は、14 件、263,658 円でした。

-ウクライナへのロシア侵攻が 2 か月を過ぎ、さらに長期化する見通しの中で、多くの難民が出て、ヨーロッパ YMCA 同盟を中心に難民の支援を行い、国際協会の要請に基づき、国内で募金を呼びかけて、100 万円を送りました。さらに、日本 YMCA 同盟でも対応し、これまでに 60-80 人の難民の日本受け入れを行われてきました。拡大する日本への難民受け入れ活動を支援する募金を行うことになりました。

-IBC は今年度、締結はかまいませんでした。DBC は、伊東クラブが京都パレスクラブと DBC 活動を展開しています。さらに、京都ウイングクラブと京都東陵クラブから DBC の申し入れがあり、東日本区内の部長に案内しましたが、これまで返答は来ていません。

-国際・交流事業主任、CS/Y サ事業主任、ユース事業主任などがパートナーシップ検討委員会の行う Y's×SDGs Youth Action2022 の新設に当たり事業範囲を超えて意見交換をしてきました。その結果、2022 年 1 月と 2 月に Y's×SDGs Youth Action2022 の初年度募集をし、3 月には集まった 18 グループの申請のうち、10 グループが東西日本区で選考され、申請額に応じて助成されることになりました。具体的な活動は 4 月以降、2023 年 1 月一杯行われることになります。これまでの事業を超えた形で連携がされてきました。

-国際献金については以下の通りとなりました (2022.5.11 現在)

献金の種類	2021-22 献金額	協力クラブ数	昨年度
BF	993,346	38	1,047,474
TOF	793,000	45	756,750
RBM	481,400	39	473,500
YES	255,050	37	254,400
EF	94,500	4	28,800

1.ユース事業委員会(Zoom 形式)

- ・第1回(2021年7月30日)  
議事内容:AYC、YVLF、年間事業計画
- ・第2回(2021年8月21日)  
議事内容:YVLF、オープンフォーラムY、iGo
- ・第3回(2021年9月4日)兼YVLF実行委員会(横浜YMCA)  
議事内容:YVLF、各部大会におけるアピール内容
- ・第4回(2021年10月15日)  
議事内容:YVLF決算報告、次年度のYVLF、各部大会報告、各部のユース事業の把握
- ・第5回(2022年1月21日)  
Y's×SDGs Youth Action2022(公募型ユース活動支援事業)周知
- ・第6回(2022年3月18日)  
Y's×SDGs Youth Action2022(公募型ユース活動支援事業)
- ・第7回(2022年4月22日)  
東日本区大会表彰クラブ選定
- ・第8回(2022年5月20日)  
東日本区大会のユースアワー

2. アジア太平洋地域ユース・コンボケーション(AYC)

日時 :8月7日・8日

参加者:東日本区 11名(ユース7名)・西日本区 11名(ユース4名)

従来通りの各クラブからの推薦、応募方式では参加者を集めることができず、過去のAYC,IYC参加経験者、YMCAリーダー、学生YMCAに絞っての勧誘活動を行い7名の登録者を獲得。事前準備として、東西合同のオリエンテーションを開催(8月1日)

ZOOMの恩恵により、アジア太平洋地域の実行委員会ミーティングへの参加、アジア太平洋地域役員、西日本区ユース主任と連携、協力し準備ができた。

3. ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)

日時:9月11日、12日

参加者(ユースリーダー):30名(盛岡、とちぎ、仙台、千葉、横浜)

事後、主管の横浜YMCA、次年度担当の東京YMCA山手センター担当と評価会(9月25日)を開催。

4. Y's×SDGs Youth Action2022プレゼンテーションイベント開催(2022年3月6日)

## 1.事業主題

主題：「ワイズメネットの強みを活かそうー新たな可能性を求めて」

## 2.委員会構成

委員長:澁谷 実希(所沢) 書記:委員長兼任 会計:菅谷 一江(東京 東新部連絡員)  
委員:青木 清子(千葉) 鈴木 孝枝(宇都宮東) 池田 明美(十勝 北海道部連絡員)  
多田 純子(仙台広瀬川 北東部事業主査) 布上 信子(東京グリーン 関東東部連絡員)  
山縣 洋子(甲府 21 あずさ部連絡員) 佐藤 節子(厚木 湘南沖縄部連絡員)  
青木 優子(熱海 富士山部連絡員)

## 3.活動報告

### 【委員会報告】

第1回 2022年5月20日(金)19:00~20:35、Zoom 開催

協議事項 献金報告の件、事業計画の件、ワイズメネットアワーの件

### 【事業報告】

#### ○ ワイズメネット献金

国内：絵本事業 187,500円 東日本大震災 82,500円

国際：プロジェクト 60,100円 国際登録費 14,800円

#### ○ 絵本事業

YMCAの児童施設への絵本贈呈は、6月末に予定している。

#### ○ 東日本大震災復興支援

2020-2021年度、2021-2022年度の支援先は検討中

#### ○ 第25回東日本区大会ワイズメネットアワー

日程 2022年6月4日(土)18:00~20:00 Zoom 開催

内容 委員長引継ぎ式、東日本大震災支援金授与、事業報告、講演

## 4.総括

今年もまた、長期化するコロナ禍で日常生活にばかり意識が向き、どのような活動ができるのかを思案しつつも活動は停滞したままでした。そのため、委員会を招集することは容易ではなく計画していた事業を達成することは叶いませんでした。一方で、ワイズメネット献金については、例年同様に献金をお寄せいただき、心よりお礼申し上げます。絵本事業及び東日本大震災支援金の授与については年度末の実施となるため、年次報告書への記載が間に合いませんので次年度の報告とさせていただきます。

コロナ禍を前向きに捉えることが出来ず、委員長の力不足が大きく影響を及ぼしたことにより、3年間の任期を終えることになってしまいました。残念な形ではありますが、次期の委員長さんへのバトンを繋いでいきたいと思っております。ありがとうございました。

チミケップキャンプ場ワーク

日 時 7月10日(土)

現地まで乗り合わせ3時間半～5時間の道のり

宿泊棟(キャビン)のペンキ塗り(防腐剤) 各クラブより14名の参加

第一回評議会

日 時 9月9日(木)

方 法 ビデオ会議システム ZOOM によるウェブ会議

第一号～第十一号議案とおりに全て承認された。

YMCA サービス(ピンクシャデー)支援

部独自 CS 資金配布

・チャリティーラン参加登録費支援

・チミケップキャンプ場の整備、備品及び調達等。 棧橋製作支援

北海道部全会員交流会

日 時 11月11日(木)19:00～21時30分

ビデオ会議システム ZOOM によるウェブ会議

部長公式訪問

札幌クラブ 10月例会

日 時 10月19日(火)

方 法 ビデオ会議システム ハイブリット・ZOOM によるウェブ会議

中村と会員増強事業主査の重堂メン 2名での参加(リモート)

卓話者に山崎 修氏(アルペールビル オリンピックモーグル(元日本代表))

札幌クラブ 12月例会

日 時 12月20日(月)

入会式に中村と書記山下メンが対面にて参加 Y's バッジ着

札幌クラブ事業安田文子コンサート

日 時 12月21日(火)

合同新年会

日 時 1月18日(火)

方 法 ハイブリット形式 卓話「若き日の渋沢栄一」

例年4クラブ対面での合同新年会コロナにより対面中止 4クラブ揃い合同新年会

北海道部大会

日 時 2月19日(土)

会 場 然別湖畔温泉ホテル風水

2年続けてコロナにより中止

第2回評議会・次期役員研修会

日 時 4月29日(金)

方 法 ビデオ会議システム zoom を併用したハイブリット形式

第一号～第五号議案とおりに全て承認された。

・部支援 YMCA サービス(ピンクシャツデー)ご報告を受けました。

・昨年度部支援 北海道 YMCA チャリティーランのご報告も頂きました。

・次年度部 CS 資金の申し込みを確認しました。

・年度内第3回評議会 次年度引継ぎ申し合わせ事項



- 主 題 【続】『変化を楽しみながら新生北東部を創ろう!』
- 副 題 With コロナの新体制を確立しよう!

1. 仙台広瀬川クラブ10周年記念例会参加(仙台 YMCA、7/3)
2. 那須クラブ例会参加(ZOOM、7/24)
3. アジア太平洋地域大会参加(ZOOM、8/14)
4. CS・Y サ委員会(ZOOM、7/24)
5. 北東部ミーティング(9/3、9/22)
6. 宇都宮クラブ例会参加(ZOOM、9/9)
7. 関東東部大会参加(ZOOM、10/2)
8. 石巻広域クラブ例会参加(ZOOM、10/22)
9. 那須クラブクリスマス例会・入会式参加(12/11)
10. 石巻広域クラブ例会参加(ZOOM、1/28)
11. 東日本大震災追悼式参加(石巻、3/11)
12. ナイトフォーラム参加(ZOOM、4/16)
13. 会議参加
  - ① 東日本区役員会(7/10、11/6)
  - ② 拡大 EMC(7/29、8/30、9/29、10/28、11/29)
  - ③ 仙台青葉城クラブ例会(6/3)
  - ④ 部長ワークショップ(10/30)
  - ⑤ 東日本区役員指名委員会(3/6)

以 上

今期の部長スローガンは「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」として、地域活動を重視しながら仲良く楽しくワイズの輪を広げていこうということでした。Zoom を活用して外国をはじめ遠くのワイズと繋がれたことはよかったことですが、リアルの活動に勝るものはないというのが本音です。

(1)評議会

7月31日 Zoom による開催(37名)と4月16日ハイブリッド形式による開催。(48名)の2回の開催。第2回評議会で、協議案「関東東部の部則並びに細則検討委員会を発足」することが承認された。

(2)部大会

10月2日(土) オンライン開催 120名の参加  
記念講演は「人生100年時代を生きる」立教大学萩原なつ子教授

(3)リモート懇親会

11月20日 第2回評議회를リモート懇親会に変更。活発なCS活動のクラブに学び、西日本区の余島のキャンプ映像の紹介。各クラブのクイズを出し合ったクラブ紹介で楽しんだ。(30名)

(4)EMC 活動状況

部会員数:3月1日現在 132名  
新入会員:千葉ウエストクラブ1名 所沢クラブ4名 千葉クラブ1名 合計6名  
「EMCを考える集い」を開催:4月2日 Zoom にてフレッシュメンバーをパネラーにして次期関東東部部長工藤大丈さんの巧みな司会で行われた。47名の参加。

(5)ユース支援

ユースボランティア・リーダーズフォーラムをオンラインで開催。報告会(江東クラブ)  
Y's×SDGs Youth Action2022 支援 関東東部からは1チーム「NPO Salamato & Phippines Sky Light Project」推薦:埼玉 YMCA 所沢センター・所沢ワイズメンズクラブ

(6)部長通信

情報の共有化のため、部長訪問の様子やEMC等について 5号発行

### 1. 部長主題、スローガン

7つのクラブがそれぞれの個性と伝統に従って活動をしているところから、クラブの自主性を重んじ「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」という主題を掲げた。同時に新クラブの設立を意識して「東新部のエクステンションとSDGs」をスローガンとした。

### 2. クラブ例会と会員の動向

コロナ禍にあって、対面の例会は限られ、日常の活動にも困難が生じたため、休会、退会者も見られたが、その中で新規入会者の獲得もあった。オンラインの例会が工夫され、数クラブの合同例会や、他部とのDBC やIBC を通じたクラブ間交流が図られる例も見られた。例会の開催自体が困難であった東京センテニアルクラブもランチミーティングの開催に漕ぎ着けることができた。CS 活動として、東京むかでクラブによる東新部ニュースの発行、東京多摩みなみクラブの「プランター講座」の実施は特筆に値する。

### 3. 部大会

東京町田スマイリングクラブをホストとして9月11日に部大会を開いた。コロナ禍中のオンライン集会であったため、それを乗り切る準備、リハーサル、協力など、その後のクラブ運営にも通ずる技術獲得の機会となった。大会は70余名の参加者を得た。

### 4. 役員会とエクステンション

評議会は、7月24日、11月20日、(2022 年)4月23日に開催した。エクステンションとして新潟地域および都内新宿周辺に新クラブを設立すべく、下準備に着手した。

部長主題 「道を拓く～愛と協力によって」

## 会員状況

2021年7月1日171名入会6名退会2名休会4名 2022年1月1日171名入会2名 6月—173名

## 〈活動報告〉

### (1) 第25回あずさ部憩いの森部大会 Zoom 開催

日時:2021年10月16日(土)13:30～15:30 あずさ部として初めてのZoomでの部大会

出席:74名 記念講演:「Do you 農?タネと野菜のエトセトラ」並木真さん(クラブメンバー)

### (2) 評議会

#### ① 第1回あずさ部コロナ撲滅ハイブリッド評議会(ホスト—東京たんぽぽクラブ)

日時:7月17日(土)13:00～14:30 会場:東京YMCA山手コミュニティセンター

出席:50名(会場16名 Zoom34名)

#### ② 第2回あずさ部SDC評議会(ホスト—東京武蔵野多摩クラブ)

日時:2月12日(土)13:00～16:00 (Zoom開催) 出席:50名

講演「持続可能な社会に向かって歩む～身近なところからSDGsを」上條直美氏(開発教育協会理事)

#### ③ 第3回あずさ部善光寺御開帳評議会(ホスト—長野クラブ)

日時:2022年5月14日(土)13:00～16:30 (リアル開催)

会場:長野市ホテルメトロポリタン長野 出席:52名 ※評議会のホストは輪番制です。

### (3) 部長公式訪問

- ・甲府クラブ 7月13日(故大澤英二氏メネットご出席)
- ・東京西クラブ 7月15日(フルメンバー・メネット)
- ・東京武蔵野多摩クラブ 2022年4月13日(ハイブリッド例会、卓話—佐藤次期理事)
- ・松本クラブ 12月11日(第23回アジア賞授賞式—あがたの森文化会館)
- ・東京サンライズクラブ 12月21日(お散歩例会—多摩全生園資料館見学・納会)
- ・甲府21クラブ 7月6日(例会開始前に山梨YMCA見学、入会式)
- ・東京八王子クラブ 8月14日(直前会長感謝会—大学セミナーハウス)
- ・東京たんぽぽクラブ 2022年4月12日(たんぽぽ寄席)
- ・富士五湖クラブ 2022年5月7日(第11回障がい者フライングディスク大会 in 北麓)
- ・長野クラブ 2022年5月14日(第3回あずさ部善光寺御開帳評議会)

### (4) 第4回ワイズ・ナイトフォーラム

日時:2022年2月26日(土)20:00～22:00 Zoom

第二部パネルディスカッション「あずさ部のCS活動・・・」あずさ部5クラブのCS活動を紹介

### (5) 特記

#### ・部エクステンション進捗状況

甲府やまなみクラブ・・・コロナ禍であったが努力を重ね、仮例会を経て6月11日 設立総会

### (6) 部報、部長通信 部報 I—2021年7月発行 部長通信 No.1～No.10 発行

本年度も新型コロナウイルス感染が収まることなく終わろうとしています。  
部やクラブ、横浜YMCAの活動もさまざま制約のなか知恵を絞り、活動が途切れないよう工夫しながらの運営となりました。

「咲かそう 人の輪」～明るく・楽しく・元気よく～ を主題に掲げましたが、人の輪は咲かずに終えることとなりました。多くの関係されるみなさまのご支援ご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

1 第25回 部大会の開催

2021年10月23日(土)湘南とつかYMCAホール+オンライン

講演 「新型コロナウイルスとの向き合い方」

講師 岩室紳也先生(オフィス岩室代表・市立厚木病院医師)

2 評議会の開催

2021年 7月31日(土)・11月27日(土)

3 YMCAとワイズの協議会

2021年 9月 7日(火)・12月 7日(火)・3月 1日(火)

4 公式訪問(すべて対面例会開催時に出席しています)

2021年10月・横浜とつかクラブ・11月 金沢八景クラブ

11月・横浜つづきクラブ・12月 鎌倉クラブ

12月・厚木クラブ 3月 横浜つるみクラブ

5 第28回 AIDS 文化フォーラム

2021年 8月6日(金)～9日(日)オンライン開催

6 第24回国際チャリティラン

2021年11月 6日(土)～12月 6日(月)オンライン開催

7 部報 第1号発行

8 東日本区等関連事業

区役員会・各種委員会活動に参加

今後の予定

2022年 5月28日(土)部研修会 法人化で目指すこと・指定管理施設見学

2022年 6月 7日(火)YMCAとワイズの協議会

2022年 6月25日(土)評議会

部報第2号発行

### 富士山部の活動

メンバー数は前期微減で健闘しておりましたが、後期には減少を止められませんでした。

役員会・評議会を7月・1月・5月に開催しました。

決議事項の中では、部則?の部長選出方法を改訂しました。

7月・1月の各クラブの例会に、部長公式訪問を実施してあいさつしました。例会開催を見送るクラブもあり全体の半分程度の訪問数でした。

部大会を9月に実施予定でしたが、コロナと土石流災害の影響で中止としました。

### 富士山部内の各クラブの活動

コロナ感染の影響を受け、今年度も事業活動は満足に実行できませんでした。中止になった各クラブの主な事業は、へって?青少年キャンプ・スキー教室・ドッジボール大会・サッカー大会などです。

年度当初の呼び掛けに答え新しくチャレンジした事業は以下の通りです。

- ・静岡YMCA主催で富士山部内クラブメンバー協力にて中学生英語スピーチコンテストをZoom開催しました。
- ・沼津クラブが外国人の日本語スピーチコンテストをZoom併用開催で行いました。どちらも通信環境等で苦勞はしましたが、無事に終了しました。
- ・熱海クラブはランタン
- ・下田クラブはアサギマダラ事業を開始して富士山部内に展開を考えております。
- ・富士宮クラブは読み聞かせ事業と富士山名物グランプリを開始しました。

### 終わりに

7月3日に発生した熱海伊豆山土石流災害に際しまして、たくさんの献金をいただき感謝申し上げます。

**【委員会委員】** (敬称略)、小山久恵(東京サンライズ)、栗本治郎(熱海)、駒田勝彦(甲府21)、城井廣邦(東京むかで)、利根川恵子(川越)、本間 剛(東京江東)、宮内友弥(東京武蔵野多摩)、山口貴伸(もりおか)、若木一美(横浜とつか)、涌澤 博(仙台青葉城) 以上10名

オブザーバー:大久保理事、板村直前理事、佐藤次期理事

**【活動方針】**当委員会は、文献に関することと東日本区の組織に関することを検討する機関です。このために、理事からの諮問事項を審議すること、委員会として必要な課題の取り組みを行なっています。

**【開催状況】**

第1回: 2021年7月27日(火) 担当事項と担当者の決定

第2回: 2021年8月27日(金) 継続審議、担当項目と担当者の確認

項目	内容	担当者
① 寄付金・ファンド	用途変更についての検討 ファンドに関する委員会・担当委員会	本間、山口
② 5か年計画	長期計画検討機関設置の内容と可否 組織・事業・資金等について検討する機関	宮内、若木
③ 文書管理規程	公文書内容と管理規則の策定	小山
④ 既存資料の見直し	「理事キャビネット活動の手引き」 「マニュアル、パンフレット、書籍一覧」	利根川
⑤ 会議に関する規則	「会議の運営の必要事項」議事進行、委任状	栗本
⑥ 規則の見直し	既存の委員会の規則見直しと新規作成	涌澤

第3回: 2021年9月24日(金)

継続審議、「事業主任の手引き」の見直しはLT委員会に依頼

第4回: 2021年11月19日(金)

継続審議、⑤会議に関する規則提案通り承認

第5回: 2021年12月17日(金)

継続審議、法人推進委員会規則次回委員会に再提示を要請

第6回: 2022年1月21日(金)

継続審議、③④について次回最終案を検討、次期委員について

第7回: 2022年2月18日(金)

継続審議、③④⑤を承認、次期委員に大和田氏、並木氏を承認

第8回: 2022年3月17日(木)

継続審議、①④⑥を承認

第9回: 2022年4月22日(金)

継続審議、③の役員会での議論を検討、修正案を承認

第10回: 2022年5月22日(金)

佐藤次期理事、委員長による次期検討事項について

**【2021-2022年度文献・組織検討委員会から理事へ答申した事項】**

- ① 議事進行についての指針(改定案)
- ② 法人推進委員会規則 (新規制定案)
- ③ 文書管理規程 (新規制定案)
- ④ 定款施行細則改定(改定案)
- ⑤ 東日本区災害等緊急支援基金要項(新規制定案)
- ⑥ 理事キャビネット活動の手引き(見直し案)
- ⑥ マニュアル、ハンドブック、書籍一覧 (見直し案)

以上

◎オンライン手法の普及・啓発

- LT委員会が開催するすべての会議・セミナー・研修会がオンラインとなった。
- LT委員会として各クラブ・各部などの各層のオンライン普及を目指しハードの貸し出しなどの側面支援の取組みを進めたが利用はなかった。
- 積極的に取り組んでいる階層とそうでない階層のギャップがはっきりとしてきていると思う。

◎手引き・マニュアルの更新

- 課題は明確になってきているとは思いますが具体的な素案の提示に至らなかったのは不徳の致すところであり、次年度にも継続して取り組みたい。

◎研修会の開催

○カフェド フレッシュワイズ

8月28日(土)午後13:00-17:00 Zoomによるオンラインセミナー 参加者 21名

- ワイズ歴の浅いメンバーの交流の機会づくり(同窓的な仲間づくり)
- ワイズ理解の醸成に向けた基本セミナー
- 分散会(ワールドカフェ方式)での自由討論

- 参加者からは「楽しかった」と概ね好評だった
- ただし、目標とするフレッシュなワイズの参加が少なく開催の意義について役員会側の疑問を招き、東日本区大会での開催を断念する。

○部長パワーアップワークショップ 10月30日(土)13:00~17:00 Zoomによるオンラインセミナー 参加者 32名

- 東日本区・国際・アジア太平洋地域・YMCAの現状と活動計画理解
- 佐藤重良次期理事の方針提示
- 部長としての基本的なスタンスと次期キャビネットからの連絡事項の伝達
- 事例発表「あずさ部長としての取り組み報告」(長谷川あや子 あずさ部長)
- 各部に別れてのテーブルトーク

- 部長と事業主任が必要とされる研修内容は一緒とはならないとの指摘から、部長研修と事業主任の研修会を分けて開催した。
- 各部での部長トロイカ体制の構築を目指した。
- 時期的に年度スタートから間もないということから、コロナで活動の停滞に悩む現部長を支えるために、直前部長の経験を活かし、次期部長がこれからの部活動を現部長と共に取り組むことを促す。その経験を次期部長の活動の充実につなげるという目的で開催したが、趣旨に基づく内容の構築に失敗したと思う。テーブルトークも生煮えだった。
- この失敗がその後の研修会の内容に活かされることとなったと考える。

○事業主任バトンタッチミーティング 2月3日(木)18:30~21:00 Zoomによるオンラインセミナー 参加者 22名

- 佐藤重良次期理事の方針理解と肉付け
- 各委員会の今年度事業進捗状況と次期事業主任の方針提示
- 委員会の垣根を越えた事業主任同士並びに次期キャビネットとの意見交流

- 時期的に、次期理事の方針の提示と重なり、現事業主任の現状報告と次期事業主任の方針提示がうまく噛み合った内容だったと自負している。
- 委員会の横の連携や委員会内部のトロイカ体制の確立という課題の明確化に一定の成果があったと思われる。

○次期クラブ会長・部役員研修会 3月5日(土)10:00~16:00 Zoomによるオンラインセミナー 参加者 93名

- 東日本区・国際・アジア太平洋地域・YMCAの現状と活動計画理解
- 佐藤重良次期理事方針の徹底
- 分科会

- ① 待ったなし。会員増強をどうすすめるか？(提起 栗本治郎)  
「Change!2022 12月活動期限後をにらみ今こそ行動を」
- ② YMCAとともに地域に根差す(提起 山田公平)  
「SDGs ユースアクションから始まる新たなYMCA協働」





2022 年末をゴールとする中期会員増強運動の『Change! 2022』がスタートして 3 年目最終年になりました。この間、コロナ禍と共に高齢化が進み、新会員を誘う力が弱くなって大変苦戦しています。委員会ではワイズ紹介サイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』カードを作り各クラブに配布いたしました。また、ワイズの魅力を紹介する『ワイズナイトフォーラム』を 5 回開催いたしました。6 月にも開催いたします。永遠のテーマ会員増強！ With コロナで頑張りましょう！

第1回委員会 (Zoom 会議) 日時:7月7日 (水)19:00～

ワイズ紹介サイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』の件  
ワイズナイトフォーラム開催の件

第2回委員会 (Zoom 会議) 日時:8月4日 (水)19:00～

ワイズナイトフォーラムのチラシ、卓話者、パネルディスカッションの検討

第3回委員会 (Zoom 会議) 日時:9月1日 (水)19:00～

第1回ワイズナイトフォーラムの次第、進行について

第4回委員会 (Zoom 会議) 日時:10月6日 (水)19:00～

第1回ワイズナイトフォーラムの報告、反省  
第2回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

第5回委員会 (Zoom 会議) 日時:11月3日 (水)19:00～

第2回ワイズナイトフォーラムの報告、反省。  
第3回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

拡大 EMC 事業委員会報告

第6回委員会 (Zoom 会議) 日時:12月1日 (日)19:00～

第3回ワイズナイトフォーラムの報告、反省

第7回委員会 (Zoom 会議) 日時:1月7日 (金)19:00～

第4回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について  
第5回・第6回のフォーラムの内容について

Change! 2022 中間会計決算報告の件

第8回委員会 (Zoom 会議) 日時:2月2日 (水)19:00～

第4回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について  
第5回・第6回のフォーラムの内容について

第9回委員会 (Zoom 会議) 日時:3月2日 (水)19:00～

第4回ワイズナイトフォーラムの報告・反省  
第5回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について  
拡大 EMC 事業委員会報告、SNS の広報・広告の活用について

第10回委員会 (Zoom 会議) 日時:4月6日 (水)19:00～

第5回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について  
Change! 2022 中間決算報告について  
『動画で分かるワイズメンズクラブ』サイト改修について  
ワイズの YMCA への広報について (YMCA 機関紙へのワイズコーナー掲載)

第11回委員会 (Zoom 会議) 日時:5月13日 (金)19:00～

第5回ワイズナイトフォーラムの報告、反省  
第6回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について  
『動画で分かるワイズメンズクラブ』サイト改修について (内容、費用、今後の活用)  
第7回拡大 EMC 委員会報告

## ヒストリアン 年次報告

東日本区ヒストリアン  
仙洞田安宏(甲府)

今年度はロースター&ハンドブックを印刷での発行は原則としてしない事になりました。大久保理事から、ハンドブック部分の充実を図りたいとの意向が示され、過去の区大会の詳細、東日本区奈良傳賞、優秀クラブ賞等の記録の掲載に協力しました。

12月に「ヒストリアン(記録)」という強調テーマが設定されました。ワイズ国際協会100周年を意識してのことと思います。これを受けて理事通信12月号に寄稿しました。

10月30日にリモートで開催された「部長パワーアップワークショップ(次期部長研修)」と3月5日にリモートで開催された、「次期クラブ会長・部役員研修会」に、ヒストリアンからのお願いをしました。(部長パワーアップは原稿のみ)

資料類の保存は以下の通りです。(取りあえず自宅保存)

1. 横浜つづきクラブ15周年記念例会プログラムと15年の歩み(5月28日記念例会)
2. 仙台広瀬川クラブ10周年記念誌(7月3日記念例会)

## ITアドバイザー 年次報告

ITアドバイザー  
山下 真(十勝)

### ◎ メーリングリストの管理

- ・設置と管理を行った。

### ◎ 東日本区ウェブサイトの管理

- ・各クラブのブリテンのアップロードを行った。
- ・国際、各種委員会の要請でそれぞれの資料のアップロードを行った。

### ◎ IT関係面の支援、助言

- ・特に特筆すべきものはなかった。

## 広報・伝達(PR)専任委員 年次報告

広報・伝達専任委員  
佐竹誠(東京ベイサイド)

2019年12月から続く新型コロナウイルスにより対面での活動に制限がかけられました。非対面でもPRが出来るように今期は以前からの課題でもあった「情報発信の弱さ」と向き合いPRツールの作成をしました。内容は下記の通りです。

2021年7月～スマートフォン専用PRサイトの運用を開始。(ランディングページ作成、PR動画作成、PRカード作成)

2022年5月現在までPRサイトへの新規訪問者数は1,176人です。PR動画は378回再生です。問い合わせ件数(熱海クラブ)1件。

皆さんの努力のお陰もありPRサイトへの訪問者数は少しずつ増えています。東日本ではネームバリューが低い事が課題ですが、まずはファーストステップである「知ってもらう」という部分を強化すべく引き続き皆さんがPRしやすい環境作りをしていく必要性を感じています。

今後の予定としては、現WEBサイトを外向きの内容に変更して再構築していきます。

各クラブのSNSと東日本区公式サイトが連動してバラバラだった情報を一括で見られるようにして、クラブ間及び外部とのハブとなるサイトを目指します。



## トラベルコーディネーター 年次報告

トラベルコーディネーター(TC)  
長澤山泰(東京)

2020年6月の東日本区大会(十勝)に合わせて、南米ペルーからBF代表ロザンナさんがご主人と2人で来日の予定でしたが、長引くコロナ禍の影響を受け、再三の延期を余儀なくされ、2年が経ちました。

来日の際に搭乗を予定していたアエロメヒコ航空は、米国連邦破産法第11条を適用して一昨年に破たん、現在日本路線は2022年・夏期スケジュールを終える10月末まで運休となりますが、2022年・冬季スケジュールから運航再開の予定であり、ロザンナ夫妻も運航再開に合わせて11月上旬に来日の予定となります。

今年度はTCとしての活動は特に行っていませんが、ロザンナさん夫妻のフライトの再予約及び航空券の再発券を3回行い、掛かった費用を立て替えています。

BF代表ロザンナさんが来日後は東日本区においてBF活動&交流のスケジュール調整&サポート、その後台湾区を訪問してペルーへ帰国する予定で準備を進めております。(※西日本区への訪問は現時点で未定です。)

具体的な来日日程が決まりましたら、各部長を通じて、担当クラブでのアテンドをお願いするようになりますが、私の方は6月末日で9年間担当しました任務を終えますので、次年度のTCへ、全て引き継ぐようになります。

以上

## 1. 委員会概要

### (1) 経緯

- 2021.07.01 「一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」（以下「一社」）設立登記。
- 2021.09.06 東日本区第4回常任役員会において「法人委員会」の設置を決定。
- 2021.11.25 委員会名を「法人推進委員会」に改称。
- 2022.02.01 法人推進委員会規則を制定・施行。

### (2) 位置付

東日本区理事直属の特別委員会

### (3) 目的

- ・東日本区のクラブメンバーに対する法人化の意義の理解徹底および法人化のメリットの具体化の実現への取組。
- ・一社の運営体制、事業方針、行動計画等を検討し、それらに関する規定、規則、マニュアル、手順などについて作成の方向性を示すこと。

### (4) 委員

人数：最大20名

委員長：各年度の直前理事

職責委員：東日本区直前理事、次期理事、書記、事務所長

現在委員：板村哲也、佐藤重良、衣笠輝夫、小林隆、大久保知宏、宮内友弥、辻剛、若木一美、鈴木伊知郎、齋藤宙也、大澤和子、有田征彦、車塚潤、古田和彦、深尾香子（15名）

### (5) 設置期間

原則2024年6月末。延長可。

### (6) 開催

原則毎月

## 2. 活動状況

### (1) 委員会開催状況

10/31、11/25、12/16、1/18、2/21、3/28、4/26、5/16（予定）

### (2) 作業

- ・法人推進委員会規則制定（2022.02.01）
- ・助成金活用の奨め（理事通信2022.04.01号）
- ・ワーキングチーム設置（2022.03.28）
- 教宣動画（スライド）の作成（担当：深尾、大久保） 作業中
- サポート体制の策定・構築（担当：大澤、車塚、若木） 作業中
- 一社概要書の作成（担当：宮内、辻、古田） 作業中
  - ・一社運営マニュアル・手順（担当：板村） 作業中

### 3. 今後（次期以降）の予定・目標

- ・法人化の意義の理解徹底を継続
- ・ワーキングチームにて取組中の諸活動の仕上げ/実行
- ・法人化のメリットの具体化の実現

以上

2022年5月18日現在の東日本区事務所活動報告です。

## 1. 区費納入状況

前期・後期合計 11,404,000 円となり、未納はありません。

前期	5,723,900	59クラブ 800名(内担当主事 48名)全クラブ納入済み
後期	5,680,100	58クラブ 794名(内担当主事 48名)全クラブ納入済み
計	11,404,000	

## 2. 国際・アジア太平洋地域会費等の支払(外国送金)

### (1) 国際会費支払

前期国際会費…9月15日 1,641,751円 後期国際会費…2月22日 1,747,473円

合計 3,424,390円支払いました。

<内訳>

国際会費	前期 800人	796人×CHF(スイスフラン)17.5×120.08円 若年会員4人×CHF8.75(半額)×120.08円	1,676,917
	後期 794人	789人×CHF(スイスフラン)17.5×126.16円 若年会員5人×CHF8.75×JPY126.16	1,747,473
国際会費計			3,424,390

### (2) アジア太平洋地域会費・アジア太平洋地域災害緊急支援金・YES献金(外国送金)

①前期アジア太平洋地域会費…9月15日 258,257円 後期…4月14日 294,182円 合計 552,439円支払いました。

②アジア太平洋地域災害緊急支援金…9月15日 172,171円支払いました。

③YES献金…4月14日 263,562円支払いました。

アジア太平洋 地域会費	前期	778人×USD(アメリカドル)3.00×110.65円	258,257
	後期	775人×USD3.00×126.53円	294,182
計			552,439
アジア太平洋地域自然災害緊急支援基金		778人×USD2.00×110.65円	172,171
YES献金		USD2,083×126.53円	263,562

## 3. ワイズメンズワールド補助金の受領

国際からのワイズメンズワールド補助金…2月22日 105,722円を受領しました。

838人×CHF(スイスフラン)1.00×126.16円=105,722

## 4. 各種献金の状況

(1) ネット献金は、344,900円となりました。その内 74,900円を国際へ献金しました。

(2) 各種献金明細

各種献金合計は、4,628,001円となりました。

国際への献金総額は、2,713,266円。アジア太平洋地域へはYES献金 263,562円を献金。

## 5. 各種募金の状況(2022.5.18 現在)

(1) ミャンマー募金

募金合計は、263,568円です。5月下旬にアジア太平洋地域へ送金しました。

(2) ウクライナ募金

募金合計は、898,000円。機関決定により東日本区ワイズ基金(JEF)から102,000円を拠出し1,000,000円にて5月下旬に国際へ送金しました。

(3) 櫻村メモリアル

インドコロナ支援募金 284,000円と併せ CHF5,000送金。基金残高は 657,650円。

2020年3月以降、2021年度においても新型コロナウイルス感染拡大の継続に伴い、大幅に活動の制約を受けました。2年間にも亘り、行動の自粛が余儀なくされ、各YMCAのプログラムも、多大なる影響を受けた1年となりました。すでに、ウィズコロナの時代を迎えています。今後のアフターコロナの時代との両立を鑑みながら、YMCA活動とワイズメンズクラブとの活動を考えていくことになると考えられます。YMCAでは、「はなれていても、つながっている」活動の推進が図られ、全国YMCA、世界のYMCAの活動の共有は進んだ1年でした。実際の交流の機会は激減していますが、オンラインを通じた研修の機会や会議の効率化、課題別のグループによる活動は活性化しています。このアフターコロナも見据えた活動の中にあつて、日本YMCAとしての中期計画では、5つの活動が推進避けています。

### 【日本YMCA中期計画】2021年度～2023年度

- 1 Positive well-being Positive well being を提唱し、「みつかる。つながる。よくなっていく。」の体験提唱を通して全人一貫教育の価値を最大化し、社会の健康を目指す。
- 2 Youth Empowerment 若い世代が夢を持ち、自己実現のために参画できる社会を創造する。YMCAは、若者の信頼できるパートナーとして、時代に適応し、姿を変える。
- 3 Technology for social inclusion & diversity インクルーシブな社会の実現のために、あらゆる場面でテクノロジーを活用し、多様なオンラインコミュニティのプラットフォームとなる。
- 4 Partnership 地域社会の課題に対し、企業や行政、地域の諸団体をパートナーとし、時にかなったスピード感をもって解決に臨む。
- 5 Change Agent 未曾有の世界危機において、YMCAに関わる一人一人がポジティブネットの実現のために地域、世界の課題に臨み、Change Agent(Global Servant)の育成に注力する。

### 【活動報告】

- ・現在のウクライナ情勢などを鑑みて、世界のYMCAの「連帯」を強くし、「離れていてもつながっている」ことを実感できるような、つながりと関わりのある活動を計画してきました。支援活動継続中。
  - ・ワイズメンズクラブ東日本区、西日本区から、毎年、ご支援をいただいているユースリーダーとユーススタッフなどを中心とした以下の活動が、スタイルや様式などを工夫と長に実施しました。
- ①全国リーダー研修会(全リ研)②全国学生YMCAリーダー活動③日本YMCAスタッフ研修④全国学生YMCAゼミナール ⑤ローカルYMCA開催の各種プログラム(日本語学校等)への支援

### 【全国規模の活動】

バーチャル/リアルチャリティーラン、被災地支援物資配布、同盟協議会、事業研修  
文部科学省自然体験プログラムの全国展開での実施②、「伴走プログラム」の全国展開での継続実施  
ピンクシャツデーへの取り組み、6つのYMCAでリーダーシップ(総主事)交代予定、ワイズメンズクラブとのパートナーシップ活動。ユースアクション2022への参画。Amazon みんなで応援プロジェクトの実施による新生活の支援。日本YMCAとして、全国のYMCAが、新しいチャレンジを継続中。

以上

## I. アジア太平洋地域において

### 1. NDERF(自然災害緊急支援基金)

2021 年末、フィリピンを襲った台風「オデット」の被害に対する支援に対して、US\$5,000 ドルを拠出しました。支援状況の報告もいただいています。

### 2. フィリピン区の動静

PRIAC(フィリピン区暫定運営委員会)による区の運営が行われています。2月16日に区大会が開かれ、次期理事が選出されました。各部、各クラブ会長の協力体制が整ってきています。

### 3. 台湾区への補助

2021年8月14日に開催された第29回アジア太平洋地域大会のホスト区に対して、ADF(エリア開発基金)の中から5,000ドルを補助しました。

### 4. 100周年記念3つのプロジェクト

- ①Green Activity:ソーラーパネルの寄付・運用する。
- ②SongFest:エリア内各国の歌を集める、100周年を記念する歌を集める。
- ③Food our Heritage & Culture:多様性に富んだエリア内の料理レシピを集約する。

### 5. 新クラブチャーターと次次期エリア会長

2022年3月5日にインドネシアに新しいクラブ「マラン・クラブ」が創設されました。

2023年6月にネパールにおいてユースクラブ2つ、アダルトクラブ2つがチャーターされました。

2022-24 ICM/2023-2024 エリア会長に利根川恵子ワイズ(川越クラブ)が当選されました。祝!

## II. 国際において

### 1. ICM(国際議会)

①2月25日・26日(ZOOM)

○国際憲法見直しワーキンググループより提案がなされ、5月のICMで協議されることとなった。

(内容については、第3回役員会報告書に掲載)

②5月10日・11日(@Dubai)

○憲法見直しの審議が始まったが、とても時間が足りないとのことで再度ワーキンググループの検討を経て、次年度に協議が継続されることになった。

○BFポリシーの見直しがなされた。

・BFの名称を変更する。BF=Building Fellowship

・BFの資金配分を変更する。

### 2. 100周年委員会

開催日:7月8日、9月25日、11月20日、1月22日、3月19日、5月28日

各エリアにおける100周年記念事業、国際100周年を祝う会での記念事業等についての話し合い。

### 3. プログラム・レビュー委員会

10月13日、5月9日

国際議員が3つのワーキンググループに分かれて協議するもの。国際のプログラムについて、見直しの意見交換がなされた。WEBサイトをさらに活用するには?ファンドレイジングを高めるには?メンバー増強のための効果的な活動は?等の話し合いが出たが、具体的方策はまとまらず、継続されることになった。

### 4. 2032年のYMIへ向けて～戦略2032:“Strategy 2032”～

Eminence in Fellowship and Community Impact

フェロウシップとコミュニティへの影響におけるエミネンス(卓越性) (内容については、第3回役員会報告書に掲載)

### 5. HEAL THE WORLD

YMIグローバル・インパクト・プロジェクト

①Global Impact ProjectとしてRollback Malaria(RBM)を継続します。

②健康、環境、教育の改善に関連するプロジェクトが地域社会の中で行うよう奨励される。

③国際レベルでは、クラブの規模や地理的位置に関係なく、すべてのクラブが実施できる具体的なキャンペーンや集団的プロジェクトを開発する。